

日本運動器看護学会 第6回 北海道地区セミナー

骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えると、暮らしの中の自立度が低下し、介護が必要になったり、寝たきりになる可能性が高くなり、その状態がロコモティブシンドロームです。すでにロコモティブシンドロームの予防が注目されてから数年経過しましたが、『高齢者のもの』と思っていませんか？ロコモは単なる運動器組織の加齢変化だけでなく、生活習慣により、その「柔軟性」「強度」などを徐々に失ってしまい発症してしまいます。そこで、患者さんや地域の方へ適切な支援ができるよう、また自分自身を守るためにも、3人の先生の講演を通して学びませんか。

今回は、沢山の方々と意見交換ができるようシンポジウム形式といたしました。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご出席いただきますようご案内申し上げます。また、平成24年度から日本運動器看護学会は学会認定運動器看護師（JSMN）育成をスタートいたしましたので当学会ホームページもご覧ください。

**テーマ：健康長寿、元気で素敵な明日のために私たちが
できることを考えよう！！ ～ロコモ予防～**

日時：平成25年11月9日(土曜日) 13:30～16:30

場所：(株)ムトウ 札幌本社(6階 大会議室)

札幌市北区北11条西4丁目

(地下鉄南北線北12条駅徒歩2分)

(駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください)



プログラム

13:00～ 受付開始

13:30～13:40 開会式

13:40～15:10 講演

座長: 的場 由紀子 (札幌社会保険総合病院 看護局長)

「脊椎疾患患者とロコモ予防 (仮)」

片平 弦一郎 先生 (札幌清田整形外科病院 院長)

「高齢者の低侵襲治療について」

小熊 大士 先生 (札幌円山整形外科病院 副院長)

15:10～15:25 休憩

15:25～16:05 講演

座長: 齋藤 貴子 (日本赤十字秋田看護大学 講師)

「変形性膝関節症に対するリハビリテーション」

小林 巧 先生 (北海道大学大学院保健科学研究院 特任助教)

16:05～16:25 シンポジウム

「臨床の現場で活かすロコモの予防」

16:25～16:30 閉会式

- 参加費(資料含む): 日本運動器看護学会会員1000円 非会員3000円
- 申し込み: 会場の準備の都合上、**2013年11月1日(金)まで**別紙の申し込み用紙で **FAXにて**お申し込みください。(※ 当日の参加も受け付けております。)
- お問い合わせ先: 【事務局】KKR札幌医療センター 外来 相川しのぶ
(日本運動器看護学会北海道地区研修委員)

TEL: 011-832-3161 E-mail: g-seikei@kk-smc.com

※ 当日の電話でのお問い合わせはご遠慮願います

※ 日本運動器看護学会の会員の方に限り、参加証明書を発行いたします。セミナー終了後、受付にお越しください。
なお、当日、新規入会の受付も行っております。

FAX 011-841-4572

日本運動器看護学会

第6回 北海道地区セミナー

事前参加申込用紙

★ 会場設営・準備のため本申し込み用紙を上記番号にFAXにてご施設名・ご芳名等をご連絡下さい。 _____ 〈FAX宛先〉 _____

日本運動器看護学会 北海道地区 事務局

担当: KKR 札幌医療センター 外来 相川しのぶ

ご施設名	[住所: _____]	
参加人数	_____ 名 参加	
ご芳名 ・参加者全員のご芳名をご記入下さい。 ・当日領収書が必要な方は○をつけてください ・会員・非会員の該当するものに○をつけてください。	氏名(_____) 領収書:要 日本運動器看護学会 会員・非会員	
	氏名(_____) 領収書:要 日本運動器看護学会 会員・非会員	
	氏名(_____) 領収書:要 日本運動器看護学会 会員・非会員	
	氏名(_____) 領収書:要 日本運動器看護学会 会員・非会員	
	氏名(_____) 領収書:要 日本運動器看護学会 会員・非会員	
代表者様 氏名	TEL	
	FAX(返信用)	
	E-mail	

※ 様々な医療器具メーカー様に協賛していただいております。各種展示物もご覧ください。